令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
1	6-1-3	発酵のまち推進事業	市長公室

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	情報発信や発酵フェアへの参加店舗の減少などに課題があるが、小学校でのみそづくりなど、発酵文化の普及･定着に向けた取組は評価できるため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	発酵食による食生活への意識変化などを把握し、市民の健康増進を図られたい。また、発酵フェア期間だけでなく、通年で提供出来るメニューにより、さらなる市外からの誘客や地域での消費につながる取組を進められたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
2	2-1-6	営業部設置事業	市長公室

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	包括連携協定企業等との連携や関係人口の増加、関係企業との関係性の深化に取り組んでいるものの、具体的な実績や成果に十分つながっているとは言い難いため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	包括連携協定企業等との関係を具体的な事業展開や地域課題の解決につなげるとともに、関係人口の増加など成果を数値化･可視化し、事業効果を検証されたい。また、新たな取組についても、単に連携することを目的とせず、市や市民にどのような効果をもたらすのかを明確にして取り組まれたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
3	2-1-1	職員研修事業	総務部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	研修後の政策立案や業務改善など、実務への成果については十分に把握されていないが、職員版「宍粟学講座」など研修内容の充実が図られ、受講者の満足度や意識の向上が確認されているため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	研修で得た学びが政策立案や業務改善など実務にどのよう活かされているかを把握し、研修の成果を組織全体の人材育成や組織力の向上につなげられたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
4	2-1-6	地域生活交通対策事業	まちづくり部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	小型バス路線では利用者が増加しており、地域の実情に応じて交通手段を見直すことで利用者の移動確保に努めている点は評価できる。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	路線ごとの利用実績と市の財政負担を検証し、地元住民との協議を十分に行いながらデマンド交通への転換も含め、将来にわたり市民の移動手段を確保できる持続可能な公共交通体制の構築に努められたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
5	8-1-6	自主防災組織育成支援事業	まちづくり部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	資機材の補助等により、自主防災活動への意識の高まりが、住民の防災意識の高揚となっているため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	各自主防災会からわがまち防災ファイルの提出により、組織編制や訓練実施の有無、保有資機材台帳の作成等により、自助、共助により自分たちの地域は自分たちで守るという住民の防災意識の向上につながっている。引き続き資機材等への補助等により地域防災力向上に取り組んでいただきたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
6	2-2-2 1-2-1	滞納徴収事業	市民生活部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	差し押さえや預貯金調査については評価できる。また、コンビニ収納やクレジット収納、スマホアプリ決済の利用促進などの活用により、一定成果が出ている。しかし、現年収納率は目標値に至っていないため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	職員の能力向上に向けた取組が進められているが、徴収に至らない事例に対しては、徴収強化に向けて改善を図られたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
7	2-1-16	生ごみ処理器「宍粟版キエーロ」普及事業	市民生活部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	一定の普及が図られたことは評価できる。しかし、市民のニーズ把握や長期的な追跡調査ができておらず、環境を考える意識の醸成や、ごみの減量につながったのかについて、十分な検証ができていないため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	これまでの取組を生ごみの減量につなげるため、利用者の長期的な意見を把握し、生ごみの減量や環境への意識向上につなげられたい。広報やSNSなど、これまで関心の薄かった層にも届く普及方法を検討されたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
8	2-1-16	生ごみ減量化促進事業補助金	市民生活部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	購入件数だけを成果とするのではなく、実際にどの程度生ごみの減量につながったのかという視点で事業効果を捉えられていないため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	生ごみ減量の意識が広く市民に周知されるように取り組まれたい。 また、ホームページなどを活用するなど、補助金の申請方法を工夫されたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
9	3-1-6	介護人材確保対策事業	健康福祉部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	就職後3か月以内の離職者が増加、奨学金等返還金補助は4件にとどまっている。市内介護職員の約6割が50代以上であり、確保と併せて定着への取組強化が必要である。 総合的な仕事の相談窓口における介護職求人の紹介件数、採用者数ともに目標を上回った。介護支援専門員試験対策講座では受講者4名中3名が合格し、市内等で勤務しており、成果が見られるため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	早期離職の要因を分析し、紹介件数･面接件数･採用件数を区分して把握するなど、マッチングの実態を明らかにされたい。 国の職場環境改善支援に活用し、人材の確保から定着まで一体的に支援できるよう事業の拡充を検討されたい。 奨学金等返還金補助は、対象要件や周知方法を第10期介護保険事業計画と併せて見直されたい。 国の示す多様な雇用形態などの環境整備に向けた事業所の取組を支援されたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
10	3-1-1	生活困窮者自立支援事業	健康福祉部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	支援は本人の申請･同意が前提で、相談を中断した人への働きかけは行われていない。滞納整理で執行停止･不納欠損となる市民が多数いる中、部局間連携等による支援の入口と継続性に課題があるが、直営と委託の併用により、国の制度に基づく包括的な相談支援体制を維持しており評価できるため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	支援の質を維持できる職員体制･専門性を確保し、相談を中断した人が再び相談しやすい関係を保つ工夫をされたい。 また、自立相談支援･就労支援の直営化について、十分に検討されたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
11	3-2-7	出会い応縁事業	健康福祉部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	地域おこし協力隊・結婚相談員・市が連携して第1回「宍粟で出会うBBQ森コン」を開催し、男性9人・女性6人が参加、交際に発展した組もあった。しかし、第2回は女性の参加者が集まらず、中止となり、参加者が固定化しやすいことが要因と考えられる。一定の成果はあるものの、継続して成果を上げる仕組みになっておらず、手法の見直しが必要であるため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	イベントの回数を絞り、対象を明確にした広報に力を注ぎ、参加者確保に努められたい。
2	このまま継続する	
3	改善して継続	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
12	5-1-3	鳥獣対策事業	産業部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	捕獲・防護柵・集落ぐるみの取組が相互に補完しあった結果、被害額の減少につながったため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	引き続き適正な個体数の調整に配慮する方向性を重視されたい。また、狩猟免許所持者は、高齢化と担い手不足により減少しているため、早急により効果のある施策の検討を求める。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
13	5-2-2	新たな森林管理システム	産業部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	意向調査を行い、本市独自の管理システムにより集約化が図られている。 審査による業者選定が行われ、森林整備の促進につながっている。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	森林経営管理法の施行以来、本市独自の森林管理システムを構築し事業を推進してきたことを評価するため、このまま継続されたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
14	資本的支出 建設改良費	雨水幹線整備事業	建設部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	想定以上に施工条件が良かったとは言え、1年早く供用開始できたことは内水氾濫のリスク軽減など十分評価できる。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	今後については、次年度以降も調査検討を行い、必要に応じた事業推進を図っていただきたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
15	資本的支出 建設改良費	下水道施設統廃合事業	建設部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	地域の人口減少を踏まえ、下水道施設統廃合計画に基づき、千種町岩野辺地区において、計画通りに事業が実施できたので評価できる。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	他の処理区についても処理方式の変更、更に流域下水道との接続条件の大幅な変更などを活かし、新たな視点から経費削減を図っていただきたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
16	9-1-3	不登校児童生徒支援員配置事業	教育部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	校内サポートルームにおける児童生徒一人ひとりの学習サポートや行動支援及び児童生徒が登校した時の居場所づくりや登校しやすい環境整備が図れたため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	登校状況だけでなく、校内サポートルームの利用や学習・人との関わりなど、社会的自立に向けた児童生徒一人一人の変化も含め、事業効果の把握・検証に努められたい。 支援を必要としている各学校の児童生徒数に応じた配置を検討されたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
17	9-1-3	児童生徒用タブレットパソコン更新事業	教育部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	タブレット端末を使用することによって、インターネットによる情報収集、文章や図表などの作成スキルの向上につながっているため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	授業において、教職員の使用する適正な教材づくりに努められたい。また、その内容に大きな格差が生じないように共有連携を図られたい。 国語力等の低下を招くことのないように注力されたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
18	収益的 収入及び支出	病院事業	総合病院

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	患者満足度は向上しており、サービス面での改善が確認できる。 前年度と比較して収入面では一定の改善がみられたものの、医業収益の伸び悩みや人件費の増加により、依然として純損失が発生しているため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	医業収益の改善に向けた取組を継続するとともに、費用構造の分析を進め、経営の安定化に向けた具体的な改善策を着実に実行する体制を整えられたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和7年度決算　宍粟市議会事業評価

番号	款ー項ー目	事業名	部局
19	資本的支出 建設改良費	新病院整備事業	総合病院

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	工事は計画どおり順調に進捗しており、令和7年度においては関係業者からの契約変更等の請求も発生していない。 また、市財政への影響を踏まえ、交付税措置率の高い財源を活用し、一般財源の負担を抑制しているほか、合併特例債を活用できたため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	令和9年度の新病院完成に向け、安全第一の姿勢を徹底し、事故防止に万全を期しながら工事を継続されたい。 併せて、物価や金利上昇のリスクを踏まえ、可能な範囲で費用抑制に向けた調整･交渉を継続されたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	